

新潟県環境賞受賞者紹介

新潟県環境会議（議長：新潟県知事 花角英世）では、地域における優れた環境保全活動に対し表彰を行うことにより、県民及び事業者の環境保全に関する理解を深めるとともに、環境保全活動への意欲を高め、普及促進を図ることを目的として、毎年「新潟県環境賞」の表彰を行っています。

令和2年度は、南魚沼市で活動をされている だろんこ会グループ様が環境賞エコの芽部門を受賞しましたので、その取り組みを紹介します。

持続可能な地域社会を共創する 「だろんこ会×南魚沼の農業」の取り組み

■だろんこ会グループとは

だろんこ会グループ（社会福祉法人だろんこ会、株式会社ゴーエスト、株式会社日本福祉総合研究所、株式会社南魚沼生産組合）は、全国約130箇所の認可保育園、事業所内保育所、児童発達支援センター、子育て支援施設等を運営し、次代を担う子どもたちの「にんげん力」を育む体験型保育・自然保育を行っています。

■約20年続く園児の田植え・稲刈り体験ツアー

だろんこ会グループと南魚沼とのつながりは、約20年前にさかのぼります。日本の主食であるお米の美味しさと、そのお米がどうやって作られているか、収穫を含め生産にかかわる労働を園児にもっと知ってほしいと考え、田植え・稲刈り体験ができる場所を探していました。そんな時に出会ったのが、グリーン・ツーリズムに取り組む南魚沼で、田植え・稲刈り体験を入れている民宿の「ヴィレッジヨシタニ」さんです。

その出会いをきっかけに、園児がまだ10名ほどだった創業当時から毎年、南魚沼で1泊2日の田植え・稲刈り体験、自然体験ツアーを開催。もみ殻を燃料にして炊く「ぬか釜ご飯」を現地の民宿で味わうなどの食育活動も実施しています。



令和元年度は、首都圏から約1,200人の園児や保護者、職員が南魚沼を訪れました。令和2年度はコロナ禍のためツアーは中止となりましたが、民宿の方が各保育園に南魚沼の田んぼの様子が分かる写真付きお手紙と稲穂を送ってくださるなど、温かい交流が続いています。



■農業を守る株式会社南魚沼生産組合の設立

地元の方たちと一緒に育ててきたこの取り組みをさらに発展させ、地域間連携や雇用の創出、減農薬の給食米の自給自足、食の循環などを目指し、平成25年に南魚沼生産組合を設立しました。ライスセンターも建設し、給食米の自給自足ができるようになり、令和2年は約1,300俵を給食で消費しました。また、園児たちに素晴らしい経験の機会を用意してくださる地元の方々への恩返しになればと思い、担い手が激減している中山間地を中心に25ヘクタールの田んぼを南魚沼生産組合が引継ぎ、南魚沼の農業維持と原風景を守る活動にも取り組んでいます。



■南魚沼での子育て支援

平成29年には、公立から民営化された南魚沼だろんこ保育園を開設しました。地域の防災訓練や、昔ながらの盆踊り「糸と糸盆踊り」には、保育園の職員やだろんこ会グループの本部職員が参加するなど、地域づくりを担う活動にも取り組んでいます。また、保育園が主催する「だろんこ祭り」には、たくさんの地域の方々にお越しいただき、地域交流を実現しています。



■新潟県環境賞受賞について

これらの取り組みが新潟県環境賞を受賞したことを励みに、南魚沼の農業と人をつなぐ取り組みで、これからも南魚沼の未来を広げてまいります。

【お問合せ先】
〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1-2-5
MFPR渋谷ビル13階
だろんこ会グループ広報部
koho@doronko.jp
<https://www.doronko.jp/>

